

図書館速報

第21号 平成17年4月14日発行

Toyama University Library

Scopus, CiNii を導入

～ 新データベースのご紹介 ～

附属図書館では、平成17年4月から新しいデータベースの Scopus, CiNii を導入しました。

詳細については、附属図書館ホームページ (<http://www3.toyama-u.ac.jp/lib/>) を参照ください。

SCOPUS

Scopus について

自然科学系学術出版社の最大手エルゼビア社が提供する世界最大の科学文献データベース SCOPUS(スコパス)を正式導入しました。

- ・ Scopus は毎日更新され、4,000 以上の国際的な出版社から発行された 14,000 タイトルの抄録と引用文献を含んでいます。
- ・ 抄録は最も古いもので 1966 年まで遡ります。
- ・ 1996 年以降に出版された論文には参考文献が付いており、最も幅広い論文に対して新しい引用リンクが提供されています。
- ・ オープン・アクセスおよび電子データのためのタイトルを含みます。また、新しいタイトルが常に追加されていきます。(Scopus の「Fact Book」から)



CiNii (サイニイ) について

2005年4月から平成16年度末で終了となったNACSIS-IRの後継サービスの CiNii(サイニイ) = Citation Information by NII を導入し、機関定額制サービスを利用できるようになりました。

機関定額制サービスの契約機関に所属する構成員(教員、学生等。外部来館者は除く)は、無料で CiNii のユーザ ID を取得することができます。

< CiNii の内容 >

国立情報学研究所(NII)が提供する論文情報ナビゲータです。CiNiiでは、学協会が発行された学術雑誌と大学等で発行された研究紀要の両方を検索し、検索された論文の引用文献情報をたどったり、本文を参照したりすることができます。これまでNACSIS-IRで提供されていたデータベース(引用文献索引データベース、学術雑誌目次速報データベース、雑誌記事索引データベース、外国雑誌論文引用データベース(SCI, SSCI, AHCI)), NII電子図書館サービス(日本の学協会が発行する電子ジャーナル)も含まれています。

附属図書館情報サービス課学術情報係(内線6900/3706)

e-mail : gakujo@lib.toyama-u.ac.jp